

登録コード	A3590387	開講年度	2026					
授業科目	科学英語Ⅱ					担当教員	堤 大三	
英文授業名	Scientific English Ⅱ							
単位数	1	講義期間	後期（随時）	曜日・時限	集中・不定期		対象学生	3年生（研究室配属後の学生対象）
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー	非該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】	
	2022Aカリ，2021Aカリ，2020Aカリ，2019Aカリ							
	【2022年度以前カリ対象】専門的な知識や研究能力を修得している					⇔	土砂移動現象やその結果発生する土砂災害のメカニズムを理解し、他者にその内容を説明できるようになる。	
	【2022年度以前カリ対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している					⇔	土砂移動現象やその結果発生する土砂災害のメカニズムを理解し、他者にその内容を説明できるようになる。	
	2026A3編（24A），2025A3編（23A），2024Aカリ，2023Aカリ							
	【2024年度以前カリ対象】専門的な知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。					⇔	土砂移動現象やその結果発生する土砂災害のメカニズムを理解し、他者にその内容を説明できるようになる。	
	【2024年度以前カリ対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。					⇔	土砂移動現象やその結果発生する土砂災害のメカニズムを理解し、他者にその内容を説明できるようになる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	環境共生、防災減災							
(3)全学横断特別教育プログラム								
(4)授業の概要	現代科学分野において、国際的協力、研究成果の発信なくして研究を推進することはできないため、英語を用いたコミュニケーション能力の向上を図ることを目的として実施する。							
(5)授業計画	上級生とペアを組んで研究テーマに沿った海外の研究論文を読み、内容を理解するとともに、論文のディスカッションを行ったうえで、プレゼンテーションによって他者に説明する。 最終回の授業の最後に授業アンケートを実施する。							
(6)自主学習の指針	論文の読解、ディスカッション、プレゼンテーションの準備を自主的に実施する。							
(7)成績評価の基準	論文内容の理解度、プレゼンテーションによる説明能力を判断基準とする。 また、自身以外のプレゼンテーションにおいてディスカッションへ参加する積極性も評価基準とする。							
(8)事前事後学習の内容	4に同じ							
(9)テストやレポートの予定	なし							
(10)成績評価の方法	5に同じ							
(11)質問、相談への対応および連絡先	随時対応							
(12)履修上の注意	ディスカッションに積極的に参加することを勧めます。							
【教科書】	なし							
【参考書】	なし							